

★頑張る集落営農①★

国東市では高齢化による農業の担い手不足に対応するため、集落営農組織の育成を支援しています。今月から、国東市内の集落営農組織の事例を紹介します。

1. 集落営農組織名 (農)よしき 代表理事 田口 義高
2. 所在地 国東市国東町北江(吉木)
3. 設立年月 平成18年9月
4. 構成戸数 29戸
5. 主な経営内容

水稻20a、麦11ha、大豆6ha、コギク40a

6. 集落営農に取り組んで良かったこと

- ①大型機械を利用して、農地を積極的、効率的に活用できるようになった。
- ②高齢者や女性の余剰労働力を活用した取り組みとして、コギク栽培が始まった。
- ③集落での話し合いが活発になった。

7. 今後の展望、抱負

今後は受託面積の拡大や農地の集積等により規模拡大を進め、基幹作物である麦・大豆の生産に加えて、花きや野菜等の園芸作物の導入を図り、地域との連携を密にした集落営農を進めたい。また、時代のニーズに対応した地域特産物の育成を図るとともに、農地・水・環境部門や子供会とのイベントを通じて、地域農業の活性化に寄与したい。



▲コギクの定植作業風景

集落営農について関心のある方はお問い合わせください。

お問い合わせ 農政課

☎ 72-5167

国見総合支所地域産業課 ☎ 82-1113

武蔵総合支所地域産業課 ☎ 68-1115

安岐総合支所地域産業課 ☎ 67-1116

大分県東部振興局農山漁村振興部集落・水田班

☎ 72-0409

第2回東部地区乾椎茸品評会

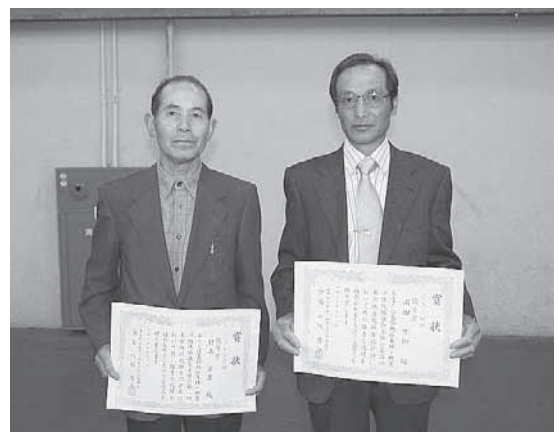
このほど、「第2回東部地区乾椎茸品評会」が開催され、その表彰式が5月2日(金)、杵築市健康福祉センターで行われました。

この品評会は、全国乾椎茸品評会9年連続優勝、通産41回優勝を誇る全国ブランドの「大分乾しいたけ」の品質向上や生産の増大を目指して、東部地区森林・林業活性化協議会(会長・八坂恭介杵築市長)の主催で行われました。

国東、杵築、速見、別府地区の乾椎茸生産農家から、277点の出品があり、このうち上位3点の優等賞の中に、国東市から国見町赤根の園田豊稔さんと安岐町明治の村上幸吉さんの2名が選ばれました。

園田さんの話。「乾椎茸は大分県の特産品です。しかし後継者不足ですので、今後は若い人にも生産に携わってもらいたいです。そのためには、価格の安定が必要です。」

村上さんの話。「受賞できて大変喜んでます。次は県の品評会で受賞することが目標です。そのため今以上に良品質の乾椎茸づくりに精進します。」



▲優等賞を受賞した村上幸吉さん(左)と園田豊稔さん

